

校長室だより No 13

2学期がはじまりました

2022年 9月1日 柏市立土小学校 校長 梅津 健志

2学期がはじまり、穏やかな登校になるかと思いきや、突然の強雨の中の登校となりました。通学路にはいつもの場所にいつものボランティアの方々が立ち、子供たちの登校を見守ってくださっていました。子供たち一人一人の顔は、40日の時間を経て、確実に大人になっていました。2学期が楽しみです。

始業式には9月のキーワード「力を合わせる」ということについて、子供たちに話をしました。低学年はグループで、中学年はクラスで、高学年は目的達成に向けて色々な人たちと、それぞれ力を合わせていけるように、と話しました。そして、全ての学年で、「ひとりも できない子を 残さない」で頑張りたいと話しました。人はそれぞれみな違います。好き嫌い・得て不得手は必ずあります。だからこそ、できないからと「あきらめてしまう」子が出ないように、先生は一人一人にきめ細かな支援をし、子供たち同士も励まし合っていける、そういう「一人も見捨てない」学校づくり集団づくりを、授業を通して行っていきたいと考えています。

夏休み中の8月19日に第1回学校運営協議会を開催しました。そこで、6月18日の教育三集會に提案し、地域や保護者の皆様から頂いたご意見等を活かして計画した、低学年の生活科、中高学年の総合的な学習の時間の授業計画を各担任がプレゼンをし、承認を受けました。どの学年も土地域を教材として学習が展開される計画になっています。また、学校の外に出て活動する機会が多く、ボランティアによる安全見守りなどをお願いしていきますのでよろしくお願いします。

このような活動支援のボランティアについては、ボランティアバンクに登録された方々に呼びかけていく形にしていきたいと考えています。従来のように学年ごとにボランティアを募集する形式から変えていき、持続可能な組織にしていくと同時に、活動する学年の保護者のみが参加するのはなく、学年を越えて支援しあい学びの様子も見合えるようにしていきたいと思います。

コロナ感染が危ぶまれる状況です。私自身も学校が機械警備となった8日から17日までの10日間療養を行うこととなりました。発熱外来の厳しさ、家庭内感染の完全阻止、発熱や咳の辛さなど実体験することができ、軽症とはいえ大変であることを認識しました。どこで感染するかわかりません。広げない努力をお互いにし、できる限りの学習機会を保障していきたいと思います。よろしくお願いします。